



# 八幡小だより

北九州市立八幡小学校  
校長 田頭 麗宏



## 子どもとSNSについて考えましょう

～ 大人には『持たせる責任』、子どもには『使う自覚』が必要です ～

大阪府の小学生がSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で知り合った栃木県の男の家について行き、監禁されるという事件の発生は、全国に大きな衝撃を与えました。同時に、あらためて子どものSNS利用について考える必要性を感じました。



この数年、携帯電話やスマートフォン（以下スマホ）を所持する子どもが急増しています。教育委員会が行った調査によると、本校でも学年によって異なるものの半数を超える子どもたちが携帯電話（キッズ携帯も含む）やスマホを所持しているとの結果が出ています。とくに、スマホに関しては、機能やアプリの充実により、用途も多様化しています。その結果、便利だったり楽しかったりする反面、冒頭に書いたように、SNSに関連したトラブルなども全国的に増加しています。具体的には、いじめにつながる誹謗中傷の書き込みや仲間外し、画像や動画など個人情報（児童ポルノ等）の流出、そして、犯罪に巻き込まれる事件などです。以前は、有害情報に接続した結果発生するものが多数でしたが、最近は、誰もが気軽に行う「通信ゲーム」等での出会い・書き込み等が、犯罪の契機になることもあります。

残念ながら、市内の小学校でも、子どもが被害者にも加害者にもなるトラブルが少なくありません。また、スマホ等の使用に多くの時間や費用（ゲームの課金等）を浪費したり、ずっと手放せないなどスマホ等への依存の状況が顕著になったりして、生活時間の乱れなど日常生活に支障をきたすケースも増えてきているようです。スマホ「等」と書いているのは、パソコンはもちろんのことゲーム機でもネット接続ができるからです。



スマホ等を持たせるにあたっては、他の持ち物と同様に、ご家庭の事情や考えに応じて判断されたことと思います。当然のことですが、その後の使用状況まで、各ご家庭で把握すべきだと思います。上記のような危惧されるスマホ等使用の問題やSNSトラブル防止も、ご家庭の責任のもと取り組んでいただき、基本にご家庭で解決を図っていただくこととなります。

例年、お正月前後から新年度にかけて、スマホ等を子どもに持たせるご家庭が多いと聞きます。まずは、**持たせるかどうかの判断**、そして、**持たせる上での準備（フィルタリング等）とルールの徹底**が大切だと思います。新たに持たせるご家庭では、販売店でフィルタリング（「有害 Web サイトのブロック」「アプリのインストール制限」の2種類あります）に関する説明を詳しく聞き、設定について詳細に打ち合わせをされることを強くお勧めします。すでに持たせているご家庭でも、状況を把握して設定を変える必要があれば販売店で変更ができるはずですが、また、使用等に関しては、しっかり子どもと話し合ってルール等の約束を決め、それを継続して確認・更新していただくことをお勧めします。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもの発達段階による判断力、トラブル発生時の被害の大きさ・解決の難しさ等から、学校ではSNSトラブル防止等に向けた指導を行っています。教員による指導に加え、本年度も3年生以上を対象に外部講師を招聘した「ネット安全教室」を2回開催します。2回目は今月13日（金）14：15～ です。子どもだけではなく、多くの保護者の皆様にもご参加いただけたらと思います。



### ♥♥♥ 小中連携で いじめ防止！ ♥♥♥

昨年、八幡小と中央中の代表が行った「小中ミーティング」をもとに、いじめ・ネットトラブル防止宣言『わか・め』が決まりました。また、中学校で取り組んでいた「ブルーリボン（いじめをしないメッセージ）運動」に小学校も参加しています。今年も中学生代表がブルーリボン（今年はブルーハートシール）をつけに来てくれました。

**いじめ・ネットトラブル防止宣言**

わ	・・・ わたしが気づく
か	・・・ かんがえる
め	・・・ めを見て話す



去年、つけてもらう立場だった子が、成長した姿で戻ってきたことに喜びを感じるとともに、小中連携の取り組みを継続する意義を再確認しました。毎月の「合同あいさつ運動」も一緒にがんばっています。